

あまうが通信

第 77 号 平成 22 年 12 月 15 日発行

あまうが(アモ-ガ)とは真実

発行所 ひょうたんでら融通尊寺 〒651-0093 神戸市中央区二宮町 4-8-14

電話 078-221-5136

発行人 住職 宇喜多 智弘(うきた ちこう)

FAX078-221-9256

メールアドレス yuzusonj@gmail.com

携帯 090-1480-4400

法話会・写仏・行事のお知らせ いずれも参加大歓迎無料です。

平成23年2月12日(土曜)2時 写経写仏会 2月20日(日曜)3時 法話会

今月の言葉

ひょうたんでら というのは、融通尊寺の通称です。

その由来について御説明いたします。瓢箪 [ひょうたん] は古来縁起の良い形で、酒器や水筒などにも用いられたりしてきました。当寺のひょうたんは、融通尊の形代 [かたしろ] ・シンボルとして、毎年2月3日の節分に、檀信徒の皆さまに授与させていただいております。皆さまは、そのひょうたんを融通尊の分身・御守としてお持ち帰りなさいます。それで、節分にひょうたん守りをいただける寺、ということで ひょうたんでら と通称されています。ちなみに太閤秀吉の千成り瓢箪は、秀吉が融通尊に帰依し、戦勝と出世開運を祈願し、瓢箪を自らの旗印にしたのです。太閤秀吉が帰依した融通尊は、当寺の本寺で京都にある福勝寺という千年以上の由緒のあるお寺です。当、融通尊寺は福勝寺さまより、昭和の初めに融通尊を勧請分身賜り開山したお寺です。

私事ですが、ボクは平成22年9月4日に脊髄を圧迫骨折しました。奇跡的に麻痺もなく元気で、痛みも、今では殆どなくなりました。しかし10月頃はかなり痛く、あちこちの鍼灸・整体・ペインクリニック・整形外科などを巡り、痛みの治療を受けていました。しかし、どこへ行っても結局、日にち薬で、すっきり元通りに全快はしませんでした。その当時、悶々と「ボクはもう一生この痛みと潰れた脊髄と付き合う事になるのかな？」と落ち込んでいた時、ある治療師が「人生には必要無い事は起こりませんから」と教えてくれました。この言葉によってボクは救われました。「そうか、この骨折はどうしても必要な出来事だったのか。たまたまの偶然の不幸な出来事ではなかったんだ！」と本当に励まされたのです。またこの後、骨折の痛みの緩和の為に通ったある教室で、肩の力を抜く という事を教えられ、身体と人生が大きく開けました。まさに骨折さまさま、という感じなのです。

融通尊寺本堂落慶法会のご案内

昨年の末より着手して参りました本堂再建工事は、檀信徒・有縁無縁の皆さま方より、暖かいご支援・浄財を賜りましたおかげさまをもちまして、去る平成22年10月16日に、無事に無事故で遅滞無く、竣工いたしました。本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

つきましては、落慶法会を来る平成23年4月20日午前10時より、融通尊寺本堂にて執り行います。どうか皆さま御参集賜りますよう御案内申し上げます。尚、準備の都合上、落慶法会にお参りくださる方は、3月20日までに、お寺か住職 090-1480-4400(留守録可)までお知らせくださいませ。